



—— 名古屋音楽大学 飛騨市文化交流センター 連携協定 音楽活動支援事業 ——



名古屋音楽大学創立60周年

吹奏楽特別コンサートin飛騨市文化交流センター

Special Symphonic Concert



2025年

8月15日(金)

19:00開演(18:30開場)

飛騨市文化交流センター
スピリットガーデンホール

入場料 全席指定 1,000円 ※ 未就学児入場不可

プレイガイド

飛騨市文化交流センター/0577-73-0180 高山市民文化会館/0577-33-8333

下呂交流会館アクティブ/0576-25-5000 船津座/0578-83-0151

チケットぴあ/Pコード(299-366) teket/右記二次元コードを参照

チケット発売日

ガーデンメイト会員/6月14日(土)9:00~

一般/6月15日(日)9:00~

※ その他チケット発売詳細は飛騨市文化交流センターまでお問合せください。



Special Guest

Trumpet 児玉隼人



指揮指導演奏

上田仁 <名古屋音楽大学教授>

山口尚人 <名古屋音楽大学准教授>

松原孝政 <名古屋音楽大学准教授>

Program

シンフォニックオーバーチュア / J.バーンズ

～新旧吹奏楽コンクール課題曲より～

カタロニアの栄光 / 間宮芳生

祝い唄と踊り唄による幻想曲 / 杉山義隆

～Special Guestステージ 児玉隼人氏を迎えて～

トランペット協奏曲 / A.アルチュニアン

Solo Trumpet 児玉隼人

～金管アンサンブルの世界～

カンツォンプリミートニ / G.ガブリエリ

3匹のネコより”Mr.Jams” / C.ヘイゼル

～名古屋音楽大学の新しい教員を迎えて～

テールゲートキング / 山口尚人

September / M.ホワイト、A.マッケイ、A.ウィリス

Alto Saxophone / 松原孝政

～New Sounds in Brassより～

風になりたい / 宮沢和史・岩井直博

オーメンズオブラブ / 和泉宏隆・真島俊夫

フェスティバルヴァリエーションズ / C.T.スミス

主催:飛騨市文化交流センター

後援:飛騨市・飛騨市教育委員会

お問合わせ:飛騨市文化交流センター TEL:0577-73-0180

Special Guest Profile

Special Guest

Trumpet 児玉 隼人



2009年、北海道釧路市生まれ。5歳からホルネットを吹き始め、9歳から本格的にトランペットを始め。2024年、第39回日本管打楽器コンクールトランペット部門において、全部門での史上最年少で第1位、及び特別大賞(内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞)を受賞。その他にも、日本ジュニア管打楽器コンクール、日本クラシック音楽コンクール、下田国際音楽コンクール、大阪国際音楽コンクールなど、これまで10歳以降に出場したコンクールでは全て第1位及び最高位を受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラなどと共演。「題名のない音楽会」「日曜日の初耳学」「スッキリ」「沼にハマってきいてみた」「芸能人格付けチェック」など、多くのテレビ番組に出演している。これまでにトランペットを松田次史、辻本憲一の両氏に、また2025年4月よりドイツ・カールスルーエ音楽大学・プレカレッジにてラインホルトフリードリヒに師事。2024、2025年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。第7回服部真二音楽賞・ライジングスターを受賞。N高等学校の特別奨学生。イーブラス・ミュージックよりデビューアルバムとなる『Reverberate』をリリース。オフィシャルサイト：hayatokodama.com

Conducting performance Profile

Trumpet 上田 仁



京都市出身。12歳よりトランペットを始め、京都市立堀川高等学校音楽科分校、東京藝術大学音楽学部を卒業。これまでにトランペットを早坂宏明、藏野雅彦、北村源三の各氏に師事し、室内楽を稲川栄一、栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事。第69回日本音楽コンクールトランペット部門第一位、併せて松下賞受賞。2001年、ジャパンブラスカンパニオン金管五重奏の部第一位、大賞、川崎市長賞、洗足学園賞を受賞。2002年、シエナ・ウインド・オーケストラに入団。2007年、東京シティ・フィルに入団し、2015年まで一番奏者を務める。2009年、平成21年度新進芸術家海外研修制度(文化庁)研修員としてワイマール・フランツリスト音楽院に留学し、トランペットをUwe Komischke氏に室内楽をWalter Hilgers氏に師事。2012年東京オペラシティリサイタルシリーズB→Cに出演。2017年より名古屋音楽大学に赴任し、後進の指導を本務とする。2025年3月ブラス・ジャンボリー in 京都(京都府主催)に招かれる。これまでに協奏曲を東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。2004年ソロアルバム「カレイドスコープ」2006年「テレスコープ」2013年「マイクロスコープ」2022年7月に「ペリスコープ」を発表。現在、名古屋音楽大学教授、シエナ・ウインド・オーケストラ団員、金管五重奏団BuzzFiveリーダー、東京トランペットカルテット、京都トランペットグループサマーブリーズ各メンバーの他、名古屋音楽大学の学生とのグループ、めいおん☆以下に続く「トランペットメイジャーズ」「アンサンブル研究部」「ブラスソリスデン」などを主宰。また2020年6月より「めいおん☆ジュニアウインド」を発足させ、早期教育の促進、地域貢献などにも注力(現在休講中)。2024年5月からはめいおん☆オケスタサークルの顧問として後進の育成に注力する。教則本などの執筆にも力を注ぎ、2018年11月に「読むだけでトランペットがうまくなる本」を2023年9月に「10分でうまくなるトランペット」を出版する。スタジオプレーヤーとしても活動し、CM、ゲーム音楽、ドラマBGMを始め、TVアニメ「響けユーフォニアム」の高坂麗奈のトランペットを担当し注目された。

Trombone 山口 尚人



佐賀県出身、東京芸術大学音楽学部器楽科トロンボーン専攻卒業。在学中より各地の新人演奏会などに出演。また芸大吹奏楽学内演奏会にてコンチェルトを共演。在学中の1997年に東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。2000年に新日本フィルハーモニー交響楽団へ移籍し副首席トロンボーン奏者を務めるほか、ズーランシアブラスのメンバーとしても2005年から17年活動して現在はズーランシアブラスの音楽アドバイザーを務める。1999年には佐賀銀行文化財団新人賞を、2000年には日本管打楽器コンクールトロンボーン部門にて第3位を受賞。2010年、2017年には新日本フィルでコンチェルトを共演した。これまでにトロンボーンを坂本辰則、村岡淳志、古賀慎治、伊藤清の各氏に師事。作編曲家としてはシエナウインドオーケストラの小編成作品のアレンジから活動をスタートし、2006年より契約作編曲家としてズーランシアブラスシリーズをはじめとした室内楽や吹奏楽・管弦楽の作品を発表しながら、在籍する新日本フィルをはじめ、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラなどを中心に演奏されている。日テレ「オケ旅」(2023)、「D×WEST」(2024)の編曲を担当。作曲作品としては2012年に東京佼成ウインドオーケストラの委嘱作品として初演されたトロンボーン協奏曲「Four Inspirations」(玉木優、イアン・バウスフィールド)を第一作として、その後スーパーキッズより「テールゲート・キング」「応仁の乱 NEXT」「チチヌユーの風〜7月8日〜」など数多くの作品を発表。それぞれの団体のCDに収録されている。トロンボーン作品としては「クリーブランド組曲」、「絆〜DEAR FRIENDS」(マッシモ・ラ・ローサ&杉山康人が初演)、「Pathetique」「TROMBONE SONATA(仮題)」(高瀬新太郎初演)などがある。

Saxophone 松原 孝政



A.Reed音楽祭ソロ・コンテストに最年少(16歳)で入選。第2回東京室内楽コンクールにサクソフォンとしては初めて入選。第16回日本管打楽器コンクール第3位入賞。東京文化会館「新進音楽家デビューコンサート」オーディションに合格。その他受賞歴多数。2000年、昭和音楽大学を卒業。同時に特別賞を受賞。在学中より同大学オーケストラとP.クレストンの協奏曲を共演するなど数多くの学内演奏会に出演。また、読売新聞社・ヤマハ株式会社・サントリーホール主催の各新人演奏会に出演。これまでに、中村均一、富岡和男、彦坂真一郎の各氏に師事。『カルテット・スピリタス』『トリオ・リベルタ』『The Wind Wave』『TAKE8』のメンバー。現在、ソロ、室内楽を中心に、国内外主要オーケストラや吹奏楽で活動中。2003年、映画音楽「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」にソロistとして日本フィルハーモニー交響楽団とともに収録。また2005年には自身初となるソロCD『Crusing』をリリース。カルテットスピリタスとして、『scene』、『THE QUARTET』(レコード芸術特選盤)『スピリタスコレクション春夏秋冬』『THE QUARTET II』(レコード芸術特選盤レコードアカデミー賞ノミネート)をリリース。津田ホールでのリサイタルは「調和に優れた正統派アンサンブル」(音楽の友)と評された。2009年、浜離宮朝日ホールでのリサイタルはNHK「クラシック倶楽部」で放送されている。またFM名曲リサイタルにも出演するなど、メディアからも注目されている。トリオリベルタとして、『ブレイズピアソラ』『ブレイズシネマ&ワールド』を同時リリース。クラシックの枠にとらわれないその活動は、国内最大級のジャズイベント「横浜JAZZプロムナード」への出演や、神奈川県民ホール主催の単独野外コンサートなどでもその圧倒的な演奏で話題を呼び、ジャンルを超えて幅広く支持されている。他CD多数。また、CM・ドラマ・映画などのスタジオレコーディングなどにも多数参加。ドラマ『家族ゲーム』本多俊之スペシャルクインテットの一員としても話題となった。2007年より、財団法人「地域創造」登録アーティストとして、全国の公共ホール活性化事業に参加している。海外公演では、カルテットスピリタスとして2014年ロシアからの招聘を受け、モスクワのチャイコフスキーホールにて「国立モスクワ合唱団」との共演を成功させる。また、2015.16年にヤマハが主催するカルテット『プレミアムY』で中国4都市ツアー、2019年にはトリオリベルタで豪華客船「飛鳥II」カナダ〜アメリカを全て成功させた。昭和音楽大学、上野学園短期大学講師。